

パンチングメタルのウチヌキ

福島工場を増築

アルミ樹脂複合板の加工ライン新設

パンチングメタルメーカーのウチヌキ(本社・神奈川県綾瀬市、社長・中尾健太郎氏)は福島工場(福島県西白河郡)を増築する。新たにアルミ樹脂複合板の専用加工の建屋(F棟)を建設。6月から着工し11月頃に完工、年内の稼働を目指す。投資総額は土地代含めて約1億5千万円。

福島工場の西側の隣接地を昨年取得した。建屋面積540平方メートル(約163坪)の工場棟を建設する。パンチング加工の後工程の専門棟として、溝入加工機や切断機などの設備を導入するほか、仕上げ工程の組み立て加工

ラインも新設する。アルミ樹脂複合板は、芯材の樹脂を薄いサンドイッチした複合板材。軽量性や高剛性、加工性や平滑性などの特性を持つっており、建築の内外装用の建材や看板、什器や住宅資材、産業資材や土木資材など幅広い用途で使用されている。防火性能を持つ複合板もあり、意匠性や塗装品質などにも優れる。

中尾社長は「新工場棟が稼働することで、パンチング工程から各種パネル加工、さらには組み立て工程までをワンストップで対応できる」と話し、「小ロット・短納期の需要に備えて、既存の加工外注先とは協力関係を維持しながら、加工ニーズや納期など今までのユーザーからの要望にこたえていきたい」としている。

